スタートアップガイド

NEC

856-127303-001-00
2008 年 11 月 初版

Express5800/R140a-4

はじめにお読みください

856-127303-021-00

本書は、必要なときすぐに参照できるよう、お手元に置いておくようにしてください。本装置をご使用になる前に本書を必ずお読みください。

⚠ 使用上のご注意

本装置を安全に正しくご使用になるために必要な情報が記載されています。また、本文中の名称についてはユーザーズガイドの「各部の名称と機能」の項をご参照ください。

本製品の利用目的について

本製品は、高速処理が可能であるため、高性能コンピュータの平和的利用に関する日本政府の指導対象になっております。ご使用に際しましては、下記の点につきご注意いただけますよう、よろしくお願いいたします。

1. 本製品は不法侵入、盗難等の危険がない場所に設置してください。
2. パスワード等により適切なアクセス管理をお願いいたします。
3. 大量破壊兵器およびミサイルの開発、ならびに製造等に関わる不正なアクセスが行われるおそれがある場合には、事前に弊社相談窓口までご連絡ください。
4. 不正使用が発覚した場合には、速やかに弊社相談窓口までご連絡ください。

弊社相談窓口:ファーストコンタクトセンター　　電話番号:03-3455-5800

安全にかかわる表示について

本装置を安全にお使いいただくために、本書の指示に従って操作してください。
本書には本装置のどこが危険で、どのような危険に遭うか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。また、本装置内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。
本書および警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として、「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。

⚠警告	人が死亡する、または重傷を負うおそれがあることを示します。
⚠注意	火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示は次の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

△	注意の喚起	この記号は、危険が発生するおそれがあることを表します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。	例: 感電注意
⃠	行為の禁止	この記号は行為の禁止を表します。記号の中や近くの絵表示は、してはならない行為の内容を図案化したものです。	例: 分解禁止
●	行為の強制	この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示は、しなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。	例: プラグを抜け

（本書での表示例）

注意を促す記号　危険に対する注意の内容　危険の程度を表す用語

⚠注意

指定以外のコンセントに差し込まない

指定された電圧で指定のコンセントをお使いください。指定以外で使うと火災や漏電の原因となります。

本書およびラベルで使用する記号とその内容

注意の喚起

	感電のおそれがあることを示します。		発煙または発火のおそれがあることを示します。
	レーザー光による失明のおそれがあることを示します。		爆発または破裂のおそれがあることを示します。
	高温による傷害を負うおそれがあることを示します。		けがをするおそれがあることを示します。
	指などがはさまれるおそれがあることを示します。		特定しない一般的な注意・警告を示します。

行為の禁止

	本装置を分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。		指定された場所には触らないでください。感電や火傷などの傷害のおそれがあります。
	ぬれた手で触らないでください。感電するおそれがあります。		火気に近づけないでください。発火するおそれがあります。
	水や液体がかかる場所で使用しないでください。水にぬらすと感電や発火のおそれがあります。		指定しない一般的な禁止を示します。

行為の強制

	本装置の電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。		特定しない一般的な使用者の行為を指示します。説明に従った操作をしてください。

色分けされた部分についての取り扱い注意

本装置の電源をONにしたままの状態で内蔵オプションの取り付け/取り外しができる部分を緑色で色分けしています。電源、ハードディスクドライブ、メモリボード等は冗長構成とすることで、電源をONにしたままの取り付け/取り外しが可能となります。緑色の部分以外への内蔵オプションの取り付け/取り外しは、必ず本装置の電源をOFFにし、すべての電源コードをコンセントから抜いてから行ってください。

安全上のご注意

全般的な注意事項

⚠警告

人命に関わる業務や高度な信頼性を必要とする業務には使用しない

本装置は、医療機器・原子力設備や機器、航空宇宙機器・輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みやこれらの機器の制御などを目的とした使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用した結果、人身事故、財産損害などが生じても当社はいかなる責任も負いかねます。

煙や異臭、異音がしたまま使用しない

万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちに本体のPOWERスイッチをOFFにして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となります。

針金や金属片を差し込まない

通気孔やCD-RW/DVD-ROM装置などのすきまから金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電の危険があります。

指定以外の場所で使用しない

本装置はEIA規格に適合したExpressサーバ用の19インチラックに取り付けて使用します。本装置を取り付けるラックを設置環境に適していない場所には設置しないでください。
本装置やラックに取り付けているその他のシステムに悪影響をおよぼすばかりでなく、火災やラックの転倒によるけがなどをするおそれがあります。設置場所に関する詳細な説明や耐震工事についてはラックに添付のマニュアルを参照するか、保守サービス会社にお問い合わせください。

⚠警告

規格以外のラックで使用しない

本装置はEIA規格に適合したラックに取り付けて使用します。EIA規格に適合していないラックに取り付けて使用したり、ラックに取り付けずに使用したりしないでください。本装置が正常に動作しなくなるばかりか、けがや周囲の破損の原因となることがあります。本装置で使用できるラックについてはお買い求めの販売店または保守サービス会社にお問い合わせください。

⚠注意

海外で使用しない

本装置は、日本国内専用の装置です。海外では使用できません。本装置を海外で使用すると火災や感電の原因となります。

本装置内に水や異物を入れない

本装置内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、すぐ電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。分解しないで販売店または保守サービス会社にご連絡ください。

ラックの設置・取り扱いに関する注意事項

⚠注意

定格電源を超える配線をしない

やけどや火災、装置の損傷を防止するためにラックに電源を供給する電源分岐回路の定格負荷を超えないようにしてください。電気設備の配置や配線に関しては、管轄の電力会社にお問い合わせください。

一人で搬送・設置をしない

ラックの搬送・設置は二人以上で行ってください。ラックが倒れてけがや周囲の破損の原因となります。特に高さのあるラック(44Uラックなど)はスタビライザなどによって固定されていないときは不安定な状態にあります。必ず二人以上でラックを支えながら搬送・設置をしてください。

荷重が集中してしまうような設置はしない

ラックおよび取り付けたデバイスの重量が一点に集中しないようスタビライザを取り付けるか、複数台のラックを連結して荷重を分散してください。ラックが倒れてけがをするおそれがあります。

1人で部品の取り付けをしない・ラック用ドアのヒンジのピンを確認する

ラック用のドアやレールなどの部品は2人以上で取り付けてください。また、ドアの取り付け時には上下のヒンジのピンが確実に差し込まれていることを確認してください。部品を落として破損させるばかりではなく、けがをするおそれがあります。

ラックが不安定な状態でデバイスをラックから引き出さない

ラックから本装置を引き出す際は、必ずラックを安定させた状態(スタビライザの設置や耐震工事など)で引き出してください。

複数台のデバイスをラックから引き出した状態にしない

複数台のデバイスをラックから引き出すとラックが倒れるおそれがあります。装置は一度に1台ずつ引き出してください。

電源・電源コードに関する注意事項

⚠警告

ぬれた手で電源プラグを持たない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。

本装置に関する詳しい説明が記載されている「ユーザーズガイド」は添付の「EXPRESSBUILDER」DVDの中にPDFファイルとして格納されています。PDFファイルは「Adobe Reader」で閲覧することができます。Adobe Readerは、Adobeのホームページから無償でダウンロードできます。EXPRESSBUILDER内にホームページへのリンクがあります。印刷されたユーザーズガイドが必要な場合はお買い求めの販売店に次の型番で申し込んでください。

型番: UL9020-485

また、DVD-ROMに収められているオンラインドキュメントの一部は、次のホームペー ジからダウンロードすることができます。

［NEC 8番街］ http://nec8.com/

安全上のご注意　- つづき -

電源・電源コードに関する注意事項

⚠注意

指定以外のコンセントに差し込まない

指定された電圧でアース付のコンセントをお使いください。指定以外で使うと火災や漏電の原因となります。また、延長コードが必要となるような場所には設置しないでください。本装置の電源仕様に合っていないコードに接続すると、コードが過熱して火災の原因となります。

たこ足配線にしない

コンセントに定格以上の電流が流れることによって、過熱して火災の原因となるおそれがあります。

中途半端に差し込まない

電源プラグは根元までしっかり差し込んでください。中途半端に差し込むと接触不良のため発熱し、火災の原因になることがあります。また差し込み部にほこりがたまり、水滴などが付くと火災の原因となるおそれがあります。

指定以外の電源コードを使わない

本装置に添付されている電源コード以外のコードを使わないでください。電源コードに定格以上の電流が流れると、火災の原因となるおそれがあります。
また、電源コードの破損による感電や火災を防止するために次のような行為を行わないでください。

- コード部分を引っ張らない。
- 電源コードをはさまない。
- 電源コードを折り曲げない。
- 電源コードに薬品類をかけない。
- 電源コードをねじらない。
- 電源コードの上にものを載せない。
- 電源コードを改造･加工･修復しない。
- 電源コードを束ねたまま使わない。
- 電源コードをステープラ等で固定しない。
- 損傷した電源コードを使わない。(損傷した電源コードはすぐ同じ規格の電源コードと取り替えてください。交換に関しては、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。)

添付の電源コードを他の装置や用途に使用しない

添付の電源コードは本装置に接続し、使用することを目的として設計され、その安全性が確認されているものです。決して他の装置や用途に使用しないでください。火災や感電の原因となるおそれがあります。

設置・移動・保管・接続に関する注意事項

⚠注意

カバーを外したまま取り付けない

本装置のカバー類を取り外した状態でラックに取り付けないでください。装置内部の冷却効果を低下させ、誤動作の原因となるばかりでなく、ほこりが入って火災や感電の原因となることがあります。

指定以外の場所に設置しない

本装置を次に示すような場所や本書で指定している場所以外に置かないでください。火災の原因となるおそれがあります。

- ほこりの多い場所。
- 直射日光が当たる場所。
- 給湯器のそばなど湿気の多い場所。
- 不安定な場所。

指を挟まない

ラックへの取り付け/取り外しの際にレールなどで指を挟んだり、切ったりしないよう十分注意してください。

リリースレバーを指で押さない

ラックへの取り付け・取り外しの際に装置はいったんロックされた状態になります。ロックされた状態を解除するためのリリースレバーが装置の両側にありますが、このレバーはドライバなどの工具を使って押してください。指で押すとけがをするおそれがあります。

プラグを差し込んだままインタフェースケーブルの取り付けや取り外しをしない

インタフェースケーブルの取り付け/取り外しは電源コードをコンセントから抜いて行ってください。たとえ電源をOFFにしても電源コードを接続したままケーブルやコネクタに触ると感電したり、ショートによる火災を起こしたりすることがあります。

二人以下で持ち上げない

本装置の質量は最大で47Kgあります。持ち運びの際に腰を痛めるなどのけがを防ぐために本装置は三人以上で底面をしっかりと持って運んでください。また、フロントベゼルが取り外された状態にしてから持ち運んでください。

⚠注意

腐食性ガスの存在する環境で使用または保管しない

腐食性ガス(二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど)の存在する環境に設置し、使用しないでください。

また、ほこりや空気中に腐食を促進する成分(塩化ナトリウムや硫黄など)や導電性の金属などが含まれている環境へも設置しないでください。装置内部のプリント板が腐食し、故障および発煙・発火の原因となるおそれがあります。もしご使用の環境で上記の疑いがある場合は、販売店または保守サービス会社にご相談ください。

指定以外のインタフェースケーブルを使用しない

インタフェースケーブルは、NECが指定するものを使用し、接続する装置やコネクタを確認した上で接続してください。指定以外のケーブルを使用したり、接続先を誤ったりすると、ショートにより火災を起こすことがあります。
また、インタフェースケーブルの取り扱いや接続について次の注意をお守りください。

- 破損したケーブルコネクタを使用しない。
- ケーブルを踏まない。
- ケーブルの上にものを載せない。
- ケーブルの接続がゆるんだまま使用しない。
- 破損したケーブルを使用しない。

お手入れ・内蔵機器の取り扱いに関する注意事項

⚠警告

自分で分解・修理・改造はしない

本書に記載されている場合を除き、絶対に分解したり、修理・改造を行ったりしないでください。本装置が正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の危険があります。

CD-RW/DVD-ROM装置の内部をのぞかない

CD-RW/DVD-ROM装置はレーザーを使用しています。電源がONになっているときに内部をのぞいたり、鏡などを差し込んだりしないでください。万一、レーザー光が目に入ると失明するおそれがあります(レーザー光は目に見えません)。

リチウムバッテリやニッケル水素バッテリ、リチウムイオンバッテリを取り外さない

本装置内部にはリチウムバッテリやニッケル水素バッテリもしくは、リチウムイオンバッテリが取り付けられています(オプションデバイスの中にはリチウムバッテリやニッケル水素バッテリもしくは、リチウムイオンバッテリを搭載したものもあります)。バッテリを取り外さないでください。バッテリは火を近づけたり、水に浸けたりすると爆発するおそれがあります。
また、バッテリの寿命で本装置が正しく動作しなくなったときは、ご自分で分解・交換などをせずにお買い求めの販売店または保守サービス会社に連絡してください。

電源プラグを差し込んだまま取り扱わない

お手入れや本装置内蔵用オプション(ホットスワップ可能なデバイスを除く)の取り付け/取り外し、装置内ケーブルの取り付け/取り外しは、本装置の電源をOFFにして、電源プラグをコンセントからすべて抜いて行ってください。たとえ電源をOFFにしても、電源コードを接続したまま装置内の部品に触ると感電するおそれがあります。また、電源プラグはときどき抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまったままで、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。

⚠注意

高温注意

本装置の電源をOFFにした直後は、内蔵型のハードディスクドライブなどをはじめ本装置内の部品が高温になっています。十分に冷めたことを確認してから取り付け/取り外しを行ってください。

中途半端に取り付けない

ボードやインタフェースケーブルは確実に取り付けてください。中途半端に取り付けると接触不良を起こし、発煙や発火の原因となるおそれがあります。

コネクタカバーを取り付けずに使用しない

内蔵デバイスと接続していない電源ケーブルのコネクタにはコネクタカバーが取り付けられています。使用しないコネクタにはコネクタカバーを取り付けてください。コネクタカバーを取り付けずに使用すると、コネクタが内部の部品に接触して火災や感電の原因となります。

感電注意

本装置のPCIバスと冷却ファン、ハードディスクドライブ、電源ユニット(冗長構成時のみ)はホットスワップに対応しています。通電中に部品の交換をする際は、内部の部品の端子部分などに触れて感電しないよう十分注意してください。

運用中の注意事項

⚠注意

ペットを近づけない

本装置にペットなどの生き物を近づけないでください。排泄物や体毛が装置の内部に入って火災や感電の原因となります。

雷が鳴ったら触らない

雷が発生しそうなときは電源プラグをコンセントから抜いてください。また電源プラグを抜く前に、雷が鳴りだしたら、ケーブル類も含めて本装置には触れないでください。火災や感電の原因となります。

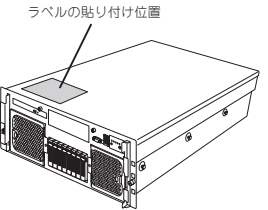
装置の上にものを載せない

載せたものが倒れて周辺の家財に損害を与えるおそれがあります。

自分でFANを取り外さない

FANの交換は保守サービス会社に依頼してください。動作しているFANを外すと指を挟んでけがをするおそれがあります。

警告ラベルについて

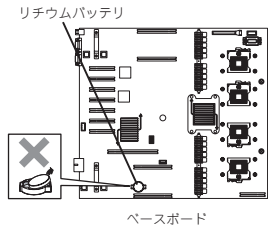
本装置内の危険性を秘める部品やその周辺には警告ラベルが貼り付けられています。これは本装置を操作する際、考えられる危険性を常にお客様に意識していただくためのものです(ラベルをはがしたり、汚したりしないでください)。もしこのラベルが貼り付けられていない、はがれかかっている、汚れているなどして判読できないときは販売店にご連絡ください。ラベルに貼られている内容をよく読んで警告事項を守ってください。

製品の譲渡と廃棄について

ハードディスクドライブ内の大切なデータを完全に消去していますか？OS上からは見えなくなっていてもハードディスクドライブ上に残っている場合があります。第三者へのデータ漏洩を防止するために、市販のツールや保守サービス(共に有償)を利用して、お客様の責任において消去してください。

- **第三者への譲渡について**

  本装置を第三者に譲渡(または売却)するときは、本書ならびに添付の部品や説明書、ライセンス許諾書などのドキュメントもいっしょにお渡しください。「EXPRESSBUILDER」DVDには本製品のユーザーズガイドがPDFファイルとして格納されています。譲渡や売却の際には、必ず渡してください。

- **消耗品･本装置の廃棄について**

  本体およびハードディスクドライブ、DVD-ROMやオプションのボードなどの廃棄については各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせください。
  <u>本装置に搭載されているバッテリ(右図参照)の廃棄(および交換)についてはお買い求めの販売店または保守サービス会社までお問い合わせください。</u>
  なお、装置添付の電源ケーブルにつきましても、他装置への転用を防ぐため、本体と一緒に廃棄してください。

健康を損なわないためのアドバイス

このコラムでは、コンピュータ機器を使用する上で健康を損なわないため注意していただきたいことがらを記載します。身体に負担がかからないよう心掛けましょう。

- よい姿勢で作業をしましょう。
- キーボードの角度を調節しましょう。
- ディスプレイの向きや明るさ(ブライトネス)、コントラストを見やすく調節しましょう。
- ときどき軽い体操をするなど､気分転換を気分転換をはかりましょう。

その他

本製品を安全に正しく取り扱うための説明や注意事項は、オンラインドキュメントの「ユーザーズガイド」で詳しく記載されています。

裏面に続く➡➡➡

表面からの続き

セットアップの流れ

箱を開けてからサーバが使えるようになるまでの手順を説明します。このスタートアップガイドに従って作業してください。

⚠ 安全に関するご注意

装置をセットアップする前に「ユーザーズガイド」の
「安全にかかわる表示について」
「使用上のご注意 ～必ずお読みください～」
をお読みの上、注意事項を守って正しくセットアップしてください。

⚠ 警 告

- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。
- 内蔵型オプションの取り付け・取り外しは電源コードをコンセントから抜いて行ってください。
- 雷が鳴り出したらケーブル類を含め装置に触らないでください。落雷による感電のおそれがあります。
- 「ユーザーズガイド」に記載されている内容を除き、分解・修理・改造を行わないでください。

⚠ 注 意

- 持ち運びの際は三人以上で装置の底面をしっかりと持って運んでください。
- 水、湿気、ほこり、油、煙の多い場所、また直射日光の当たる場所に設置しないでください。
- 電源コードは指定の電圧、コンセントに接続してください。
- 電源コードはタコ足配線にしないでください。

Step 1 添付品を確認する

梱包箱を開け、添付品がそろっていることを確認してください。

- 本体
- スタートアップガイド(本書)
- EXPRESSBUILDER (856-807555-001)
- フロントベゼル
- スライドレールセット
- アームストッパー
- ネジ(A) x 4
- ネジ(B) x 2
- ケーブルタイ x 10
- お客様登録申込書
- 保証書(本体梱包箱に貼り付けられています)
- DianaScope License (856-124411-001)
- 電源コード x 2
- キー x 2(フロントベゼルに貼り付けてあります)
- ケーブルアーム
- PIA update FD (856-127317-001)
- ご使用時の注意事項

重要 添付の「EXPRESSBUILDER」DVDは、セットアップ(または再セットアップ)の時に必要となりますので大切に保管しておいてください。

ユーザーズガイドは「EXPRESSBUILDER」DVDの中にオンラインドキュメントとして格納されています。ユーザーズガイドやその他のオンラインドキュメントはAdobe Readerで閲覧できるPDFファイルです。Adobe Readerは、Adobeのホームページから無償でダウンロードできます。

* ご注文の構成により、上記以外の添付品が同梱されている場合があります。

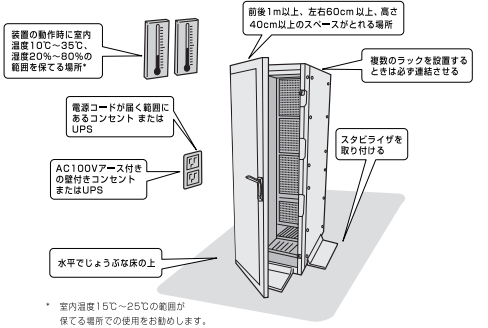
Step 2 内蔵型オプションを取り付ける

本装置内蔵用のオプションを取り付けます。

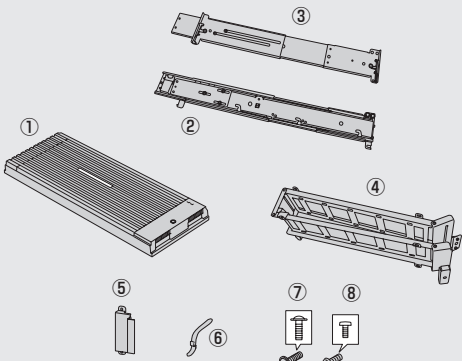
参照 「ユーザーズガイド」の「ハードウェア編」－「オプションの取り付け」を参照してください。購入時のハードディスクドライブにオペレーティングシステムがプレインストールされていないモデルの場合は、標準のハードウェア構成でオペレーティングシステムのセットアップを完了してから取り付けることをお勧めします。

Step 3 ラックに設置する

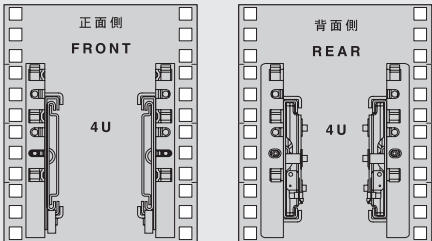
本装置はEIA規格に適合した19型(インチ)ラックに取り付けて使用します。次の条件を守ってラックを設置した後、本装置を取り付けます。

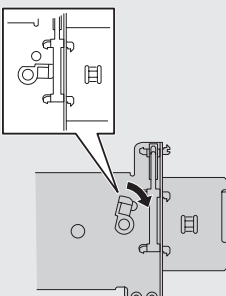
参照 下図または「ユーザーズガイド」の「ハードウェア編」－「設置と接続」－「設置」を参照してください。

* 室内温度15℃～25℃の範囲が保てる場所での使用をお勧めします。

[ラックへの搭載手順]

① 取り付け部品を確認する。

項番	名 称	数量	備 考
①	フロントベゼル	1	
②	スライドレールアセンブリ(L)	1	部品に「L」の刻印あり。
③	スライドレールアセンブリ(R)	1	部品に「R」の刻印あり。
④	ケーブルアーム	1	
⑤	アームストッパ	1	
⑥	ケーブルタイ	10	長さ 25cm
⑦	ネジA	4	2本は予備
⑧	ネジB	2	

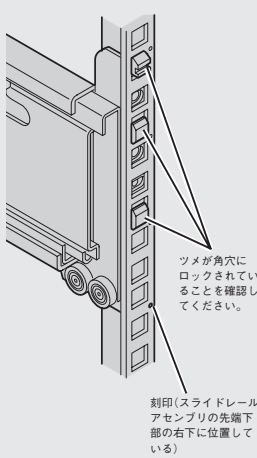
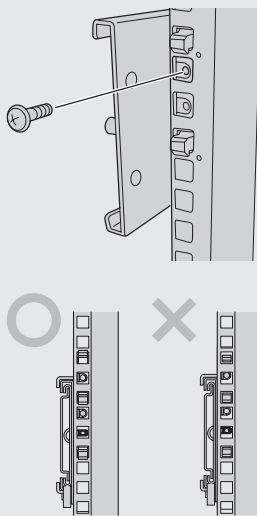
② 本装置を取り付ける位置(高さ)を決める。

本装置の高さは4Uです。レールの下側と装置の下側の位置が同じになります。

③ 黒いレバーで部品がロックされていることを確認する。

ロックされていない場合には、ロックしてください。
ロックは前後左右の4ヶ所あります。全てのロックを確認してください。

④ レールブラケットの下側が装置の下側の位置になるようにスライドレールアセンブリの位置決めする。

- スライドレールを取り付ける際、スライドレールを傾けるとインナーレールが飛び出してくる場合があります。
- スライドレールアセンブリの取り付け方向を確認してください。
  - ブラケット面をラック外側へ
  - レールには、左右があります。レールブラケットの刻印(Front→L/Front→Rを確認してください。)
- ラック前後の支柱にはネジ止め用の角穴があります。NEC製のラックでは、1U単位に丸い刻印があります。図のように刻印がスライドレールアセンブリの先端(下側)に位置するように位置決めしてください。
- レールブラケットは3Uの高さがあります。
- ツメが角穴にロックされていることを確認してください。

ツメが角穴にロックされていることを確認してください。

刻印(スライドレールアセンブリの先端下部の右下に位置している)

⑤ スライドレールアセンブリのラック背面側を左右各1ヶ所(合計2ヶ所)ともネジAで固定する。

- スライドレールアセンブリにあるフレーム先端がラックの角穴のフレームに突き当たっている状態で、レールのネジ穴(4個)が角穴から確実に見えていることを確認してください。
- スライドレールアセンブリが水平に位置決めされていることを確認してください。

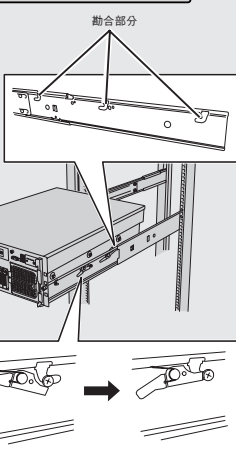
⑥ 反対側のスライドレールアセンブリを手順③～⑤と同様の手順で取り付ける。

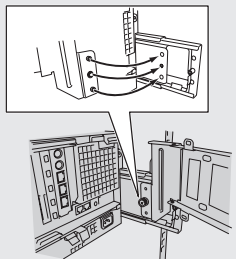
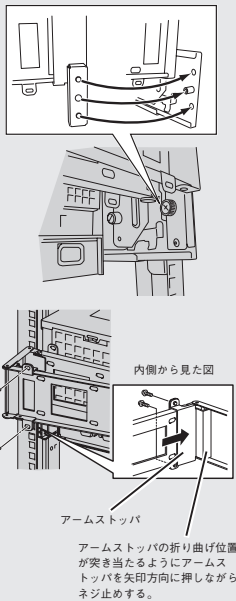
すでに取り付けているスライドレールアセンブリとおなじ高さに取り付けていることを確認してください。

⑦ 3人以上で本装置をしっかりと持ってラックへ取り付ける。

⚠ 注 意

- 2人以下で持ち運ばない。
- 指を挟まない。
- レリーズレバーを指で押さない。

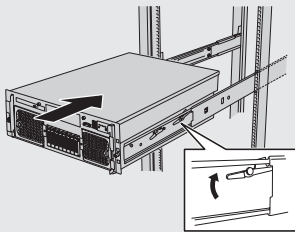
- インナーレールを「カチッ」と音がするまで引き出し、装置の側面の突起とレールの切り込みが勘合するように取り付ける。
- 真ん中の勘合部にはロックがあります。ロックが確実にかかっている事を確認してください。
- 初めての取り付けでは各機構部品がなじんでいないため押し込むときに強い摩擦を感じることがあります。強めにゆっくりと押し込んでください。

⑧ ケーブルアームをインナーレール(装置背面から見て右側)に取り付ける。

ケーブルアームの突起とインナーレールの穴をあわせるように取り付けます。

⑨ ケーブルアームの反対側をアウターレール(装置背面から見て右側)に取り付ける。

NEC社製のラックへ搭載する場合は、スライドレールアセンブリにネジBでアームストッパを取り付けます。

左下へ続く

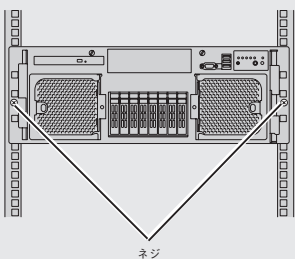
右上からの続き

⑩ 本装置をいったんラックへ押し込んで取り付け位置を確認する。

- ラックへ戻す場合は、本装置側面のレールにある緑色のリリースレバーを押しあげ、ラッチされた状態を解除してください。このときに指を挟んだりしないよう十分に注意してください。
- リリースレバーはドライバなどを使って押しあげてください。指で押すと指を挟んでけがをするおそれがあります。
- リリースレバーは片側に2種類あります。緑色のレバーのみ操作してください。

⑪ 本装置を何度かラックから引き出したり、押し込んだりしてスライドの動作に問題がないことを確認する。

⑫ 電源コードやすべてのインタフェースケーブルを取り付ける。

ケーブルを取り付ける際は、この後の「ケーブルを接続する」で説明している注意事項を必ずお読みになってから取り付けてください。

⑬ 前面の手ネジ2本で本装置をラックに固定する。

以上で完了です。次の手順へ進んでください。

サービス&サポート

Express5800シリーズ製品に関するサービスとサポートの紹介です。

ファーストコンタクトセンター(TEL: 03-3455-5800)
Express5800シリーズに関するご質問・ご相談は「ファーストコンタクトセンター」でお受けしています。

エクスプレス受付センター(TEL: 0120-22-3042)
お客様の装置本体を監視し、障害が発生した際に保守拠点からお客様に連絡する「エクスプレス通報サービス」の申し込みに関するご質問・ご相談お受けしています。

インターネット: 8番街(http://nec8.com/)
製品情報、Q&Aなど最新Express情報満載です。

インターネット: Club Express(http://club.express.nec.co.jp/)
『Club Express会員』への登録をご案内しています。Express5800シリーズをご利用になる上で役立つ情報サービスの詳細をご紹介しています。

Step 4 ケーブルを接続する

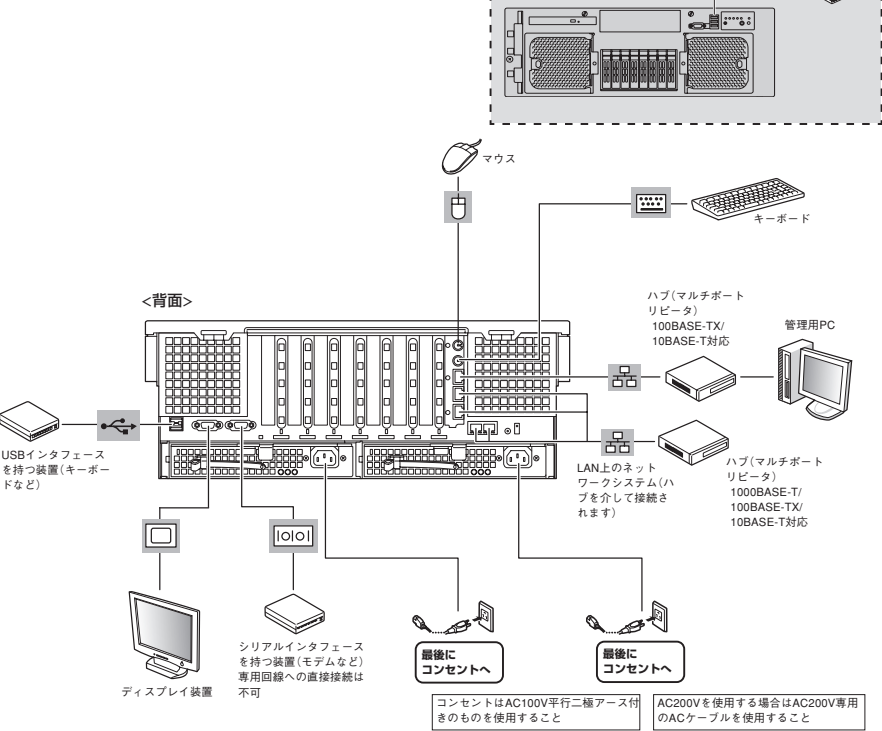
ケーブルを本装置にあるコネクタに接続します。

参照 「ユーザーズガイド」の「ハードウェア編」を参照してください。

<前面> USBインタフェースを持つ装置(キーボードなど)

<背面> マウス / キーボード / ハブ(マルチポートリピータ) 100BASE-TX/10BASE-T対応 / 管理用PC / USBインタフェースを持つ装置(キーボードなど) / LAN上のネットワークシステム(ハブを介して接続されます) / ハブ(マルチポートリピータ) 1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T対応 / ディスプレイ装置 / シリアルインタフェースを持つ装置(モデムなど) 専用回線への直接接続は不可 / 最後にコンセントへ / 最後にコンセントへ

コンセントはAC100V平行二極アース付きのものを使用すること

AC200Vを使用する場合はAC200V専用のACケーブルを使用すること

Step 5 電源をONにする

ディスプレイ装置および接続している周辺機器の電源をONにしてから、前面のPOWERスイッチを押して電源をONにします。

参照 電源をONにすると、Expressサーバは自己診断プログラム(POST)を実行します。詳しくは、「ユーザーズガイド」の「ハードウェア編」－「基本的な操作」－「POSTのチェック」を参照してください。

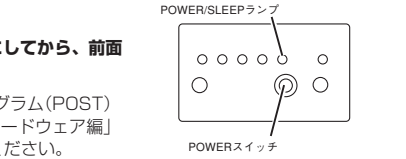
電源ON後、システムのBasic Input Output System(BIOS)の設定を変更するためのユーティリティ「SETUP」の起動を促すメッセージが表示されます。

```
Press <F2> to enter SETUP, <F12> Network
```

* メッセージが表示された後にF2キーを押すと起動します。メッセージの内容が異なる場合もありますが、それぞれのメッセージでF2キーを押すと起動します。

セキュリティ機能を使用したり、オプションデバイスを接続する場合や、管理ソフトウェアとの機能の連携をする場合などに起動します(通常は出荷時の状態でも問題ありません)。

参照 操作方法や設定の詳細については「ユーザーズガイド」の「ハードウェア編」－「BIOSのセットアップ」－「システムBIOS」を参照してください。

しばらくすると、内蔵のRAID装置や外付けのRAID装置(オプション)に対する設定をするためのユーティリティ「MegaRAID Configuration Utility」の起動を促すメッセージが表示されます。

```
LSI MegaRAID SAS-MFI BIOS Version XXXX (Build MMMM DD, YYYY)
Copyright(C) 2006 LSI Logic Corporation

HA -0 (Bus 10 Dev14) MegaRAID SAS XXX (1000/0411/1033/8287)
FW Packages: X.X.X-XXXX

X Logical Drive(s) found on the host adapter.
X Logical Drive(s) handled by BIOS
Press <Ctrl><H> for WebBIOS
```

* メッセージが表示された後にCtrl+Hキーを押すと起動します。

オプションを搭載、または接続していない場合は、起動する必要はありません。また、設定はシステムのセットアップを完了した後からでも行えます(通常は出荷時の状態でも問題ありません)。

参照 操作方法や設定の詳細については「ユーザーズガイド」の「ハードウェア編」－「ディスクアレイコンフィグレーション」を参照してください。

Step 6 システムをセットアップする

本装置をお使いになれる状態にセットアップします。

参照 Windowsに関する詳細は、「ユーザーズガイド」の「導入編」を参照してください。また、セットアップの完了後に「障害処理のためのセットアップ(ユーザーズガイド参照)」を行ってください。

<Windows Server 2008 / Windows Server 2003 x64 Editions / Windows Server 2003カスタムインストールモデルの場合>

① システムの電源をONにする。
② [使用許諾]画面で[同意します]を選択して、次に進む。
③ 表示される内容に従ってセットアップを進める。
④ セットアップを完了し、再起動後、ログオンし、ネットワークの設定や各種ドライバのセットアップをする。

「EXPRESSBUILDER」DVDには、システムの管理を容易にするためのさまざまな専用アプリケーションが格納されています(購入時のハードディスクドライブにインストール済みの場合もあります)。Windowsの起動後、本装置にEXPRESSBUILDERをセットすると表示される「オートランメニュー」からアプリケーションはインストールできます。また、アプリケーションには、管理用PCにインストールするものもあります。詳しくは、EXPRESSBUILDERに格納されているユーザーズガイドまたは電子マニュアル(オンラインドキュメント)をご覧ください。

<その他のモデルの場合>

重要 Windows Server 2008 / Windows Server 2003 x64 Editionsでは、シームレスセットアップを使用できません。インストールする場合は、各OSのインストレーションサプリメントガイドを参照し「マニュアルセットアップ」を使用してください。

① システムの電源をONにする。
② Expressサーバの CD-RW/DVD-ROM装置に「EXPRESSBUILDER」DVDをセットする。
③ リセットする(Ctrl+ Alt + Deleteキーを押す)か、電源をOFF/ONにしてExpressサーバを再起動する。
EXPRESSBUILDERからシステムが起動します。
④ [シームレスセットアップ]をクリックする。以降はメッセージに従って進んでください。

<Linux®>

BTO(工場組み込み出荷)モデルの初期設定

本体の電源をONにするとインストール済みのOSが起動します。続けてLinuxサービスセットに添付される「初期設定および関連情報について」を参照し、Linuxの初期導入設定を行ってください。

OSが未インストールの場合・再インストールの場合(Linuxサービスセットを購入している場合)

添付の「EXPRESSBUILDER」DVDに格納されているオンラインドキュメント「ユーザーズガイド」の「Linuxのセットアップ」を参照し、「シームレスセットアップ」を行ってください。

OSが未インストールの場合・再インストールの場合(Linuxサービスセットを購入していない場合)

添付の「EXPRESSBUILDER」DVDに格納されているオンラインドキュメント「Red Hat® Enterprise Linux 5 Server インストレーションサプリメントガイド」または「Red Hat Enterprise Linux 4 インストレーションサプリメントガイド」を参照し、「マニュアルセットアップ」を行ってください。

重要

- セットアップ時にドライバディスクを作成する必要があります。別途ドライバディスク用に空きフロッピーディスクを1枚ご用意ください。
- 本製品にはフロッピーディスクドライブが搭載されていません。別途USBフロッピーディスクドライブをご用意ください。

Step 7 フロントベゼルを取り付ける

すべてのセットアップを完了したら、システムのセキュリティのために添付のフロントベゼルを取り付けてください(添付のキーでのみ、ロック/解除ができます)。